

# グリーントピックス

北海道立林業試験場

No.3

## 衛星データを活用した森林管理



この写真は、衛星データと林相図を重ね合わせたものです。このようにして小班単位の森林現況を示すことができます。緑色の濃い箇所は閉鎖林分、薄い箇所は若齢または不成熟のため閉鎖していない林分。

トドマツ人工林：緑色　カラマツ人工林：だいたい色  
林班名および林班界：白色



遠隔探査実験室

森林の被害や伐採など森林現況の変化を広範囲に、しかも定期的に把握するためには、既存の技術では多大な労力と経費を必要とします。このため、衛星データを利用したリモートセンシング（遠隔探査）技術による、森林資源の効率的な管理手法の研究を進めています。

# アメニティ豊かな森づくり

森の中に入ったとき、すがすがしさとか新鮮さとか神秘性といったものを感じたりします。森のアメニティとは、森林特有の居心地の良さや魅力性といえます。こうした森林に心や体をリフレッシュする自然とのふれあいの場を求めて、多くの人たちが訪れています。

林業試験場では平成元年度から、アメニティ豊かな森づくりをめざして、アメニティの高い森とはどのようなものが、アメニティを向上させるための施業技術などについて研究を進めています。さらに今年度からは、森林景観のデザインづくりなどを目的として、樹木の形状や成長を3次元コンピュータグラフィックスにより、視覚的に表現する画像処理システムの開発を工業試験場と共同で進めています。



# 高齢カラマツ林の被害

— 最近の事例から —



## エゾヤチネズミ

このネズミは冬に造林木をかじって枯死させたりします。その被害は中高齢期を迎えたカラマツ林に近年多く見られるようになりました。

林業試験場では、平成元年度から総合的な被害防止対策の確立をめざして研究を進めています。これまでの調査では、同じ木がくり返して被害を受けることなどを明らかにしてきましたが、ひきつづき発生要因や被害がもたらす影響などを調べています。



くり返し食害された造林木



被害の影響を調べるための人工林試験



ミスジツマキリエダシャクの幼虫



ミスジツマキリエダシャクの被害林分

## ミスジツマキリエダシャク

このエダシャクはカラマツの食葉性害虫のなかで、木を枯死させるおそれがある種類です。平成元年以降、札幌市や網走東部地方の比較的高齢の林分に発生していますが、被害が小面積に散在するため、薬剤による防除は困難な状況です。

林業試験場では、今年度からこのエダシャクの天敵についての調査を開始し、天敵による効果的な防除方法の確立をめざして研究を進めています。

# 森林・林業の知識・技術の普及

林業専門技術員（SP）は、試験研究部門と密接な連携をとりながら、次のような活動をしています。

- ◆ 林業改良指導員と協力して、林業の地域課題の調査研究に取り組んでいます。
- ◆ 試験研究成果の普及につとめています。
- ◆ 森林・林業の担い手の育成につとめています。
- ◆ 緑化や林業の相談を受けています。
- ◆ 森林総合技術セミナーを開催しています。

林業試験場では、次の専門分野の林業専門技術員を配置しています。

## 専門事項 主な内容

- ① 林業経営……経営分析、施業計画、税制など
- ② 造林……林木の育種、育林、緑化技術など
- ③ 環境保全……森林のもつ災害防止機能、総合利用など
- ④ 特用林産……キノコ、小果実、薬用樹木など
- ⑤ 森林保護……虫害、病害、獣害など
- ⑥ 林業機械……林業の機械化、労働災害防止など
- ⑦ 普及方法……林業の担い手育成など



林業技術専修講座



林業技術実践講座

——明日の林業を支える方々、ふるって参加ください——

## 森林総合技術セミナー

### ★7月までに実施した講座

基礎講座、公開講座および専修講座、教養講座の一部

### ★8月以降に実施する講座

実践講座	9月25～28日	本場
専修講座（林業機械）	8月6～10日	本場
（森林保護）	8月21～24日	本場
（緑化技術）	10月2～5日	道東支場

## お問合わせ先

林業試験場 本場	TEL 01266-3-4164	FAX 01266-3-4166
道南支場	TEL 0138-47-1024	FAX 0138-47-1024
道東支場	TEL 01566-4-5434	FAX 01566-4-5434
道北支場	TEL 01656-7-2164	FAX 01656-7-2164

発行年月 平成2年7月  
発行 北海道立林業試験場  
〒079-01 美幌市光珠内町東山